給排気グリル(天井・壁) 工事説明書

給排気グリル

VB-GJ100P

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明 しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明 しています。

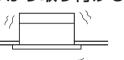
「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれが ある内容」です。

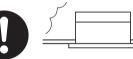
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



実行しなければならない内容です。

■本体は、十分強度のあると ■部品は確実に取り付ける ころにしっかり取り付ける





本体の脱落のおそれがあります。

落下により、けがをするおそれがあ ります。

お願い

■高温(40°C以上)になる場所 で使わないでください。

グリル変形の原因となります。



■湿気や水のかかる場所で使わ ないでください。

さびの原因となります。



■冷房の吹出し口に使用される場合
■次のような配管工事はしないで には、断熱処理をしてください。

結霧の原因となります。



ください。

(2) 吐出口のすぐそばでの曲げ





(3) 多数回な曲げ (4) 接続チューブ径を小さくする



お手入れのしかた

1か月に1回程度 ルーバーとフィルターをからぶき、または掃除機でホコリ を吸い取ってください。

3か月に1回程度 台所用中性洗剤をとかしたぬるま湯に浸し、水洗いした後、 からぶきをして水けをよくふきとってください。

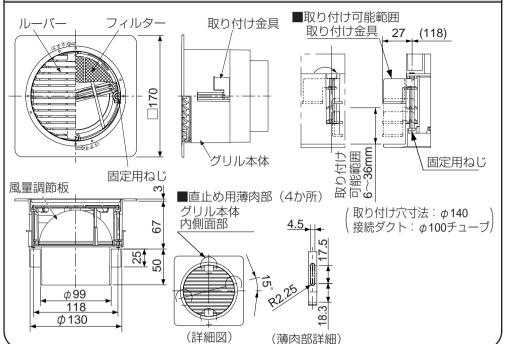
各部の名前と寸法

単位:mm

天井

給排気グリル

取り付け穴



以下の手順に従って施工してください。

①チューブは取り付け位置まで配管する。 ②天井に φ 140の取り付け穴をあける。 ③中央のルーバーを矢印の向きに

※ルーバーをはずすと 落下防止用のワイヤー がついています。

ワイヤーをつけたまま 取り付けが可能です。



1 T T S

VB-KG110M

グリル本体の印 ルーバーの印 この位置まで回転 させるとルーバー をはずせます。

④チューブを②であけた取り付け穴(φ140)より引き出す。

⑤チューブをグリル本体の奥まで確実に差し込み、抜け止め用にドリルタッピン ねじ等で2か所を締め付けてからアルミテープ(市販品)を巻いて固定する。

■アルミテープは巻き付けたあと、ヘラなどを利用して強く押し付けながらこすると 接着強度が増します。

■断熱エルボ(別売品)を使用する場合 給排気グリルに断熱エルボを奥まで確実に差し 込み、アルミテープ(市販品)を巻いて固定する。

断熱エルボにチューブを奥まで確実に差し込み、 抜け止め用にドリルタッピンねじ等で2か所を 締め付けてからアルミテープ(市販品)を巻いて 固定する。

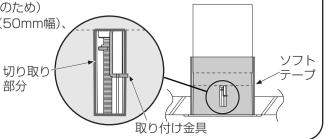
■冷房の吹き出し口に使用する場合は、 断熱処理をしてください。

ソフトテープ(別売品)を本体の外周に2周巻き付ける。 (すき間がないように巻き付けてください)

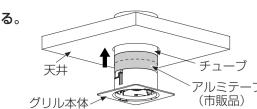
ソフトテープの巻き終わり部分をアルミテープで固定します。(15cm以上) (長期間経過後のはがれ防止のため)

ソフトテープ VB-TU012(50mm幅) VB-TU02 (100mm幅) 取り付け金具に掛かるソフト

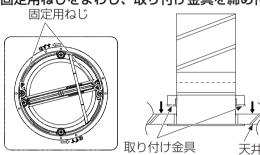
テープを切り取る。



⑥グリル本体を取り付け穴に挿入する。



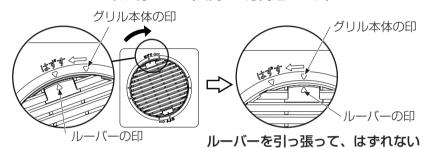
⑦固定用ねじをまわし、取り付け金具を締め付けて固定する。



■グリル本体の内側側面に 設けてある直止め用薄肉 部を使って止めることも できます。

「詳細は「各部の名前を寸法」\ に記載してあります。

⑧図のように、ルーバーの印とグリル本体の印を合わせてはめ込み、回転さ せてルーバーを取り付ける。(風向は4方向選べます)

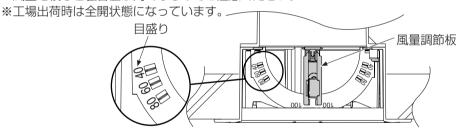


■風量の調節

風量調節板の開度調節により風量を絞ることができます。

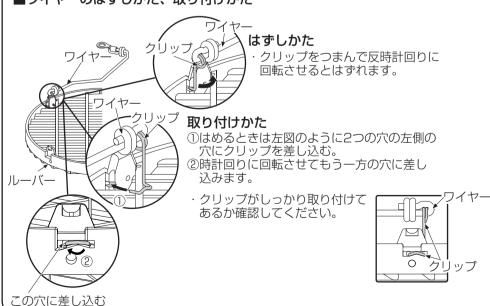
(目盛りは開口面積の割合を示しています)

※風量を絞ると騒音値が高くなるのでご注意ください。



ことを確認してください。

■ワイヤーのはずしかた、取り付けかた



パナソニック エコシステムズ ベンテック株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL (0568)81-0510

GJ100P451A-P0308-1041